

2 全農振連第 3 号  
令和 2 年 1 月 1 4 日

各地方農村振興技術連盟委員長 殿

全国農村振興技術連盟  
委員長 林田 直樹

令和元年度東京フォーラム開催の御案内

拝啓

時下、益々御清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より当技術連盟の活動につきましては御支援、御協力を賜り深く感謝申し上げます。

さて、全国農村振興技術連盟では令和元年度東京フォーラムを、(公社)農業農村工学会と共催で開催することといたしました。

農村地域の多面的機能の維持・発揮や担い手を支えるための地域活動などを目的とした「多面的機能支払交付金」については、その効果が評価されているものの、活動を支える地域住民の減少、高齢化等により交付金活動の継続が厳しい地域がみられる状況になっています。今回の東京フォーラムでは、厳しい状況の中で活動を継続されている組織の課題と工夫、1市1協定という組織の広域化を早くから進めることにより活動を活性化している事例を紹介するとともに、地域の保全と活性化を進めるにあたっての課題と提言を、行政を交えたパネルディスカッションにより、参加者の方々と情報を共有することとしています。また、令和2年度農業農村整備関係予算政府案について農林水産省の担当官より情報提供いただくことといたしました。

つきましては、業務ご多忙のこととは存じますが、昨年同様に貴連盟の会員の皆様に多数御参加をいただきますよう御配慮のほど宜しくお願い申し上げます。

なお、参加につきましては貴連盟で取りまとめのうえ、地方協議会事務局（開発局農業設計課担当官または農政局設計課担当官）に御報告いただきますようお願い申し上げます。地方協議会から全国連盟への報告は2月7日（金）としておりますことを申し添えます。

今後とも、連盟活動に対しまして、深いご理解とご協力の程重ねてお願い申し上げます。

敬具